

長生きはいいものだ"と思う。
狂言のイロハを舞台上で
やるとは、明日のことは
わからない。
腹式呼吸と発声練習
して肺気腫を治したい。
あと7日で70才。

釜ヶ崎狂言会
創作狂言
発表と座談会

2014

1/17 金

18:00 - 20:40

桃谷大阪九阜会館

創作狂言発表と座談会

2013年から釜ヶ崎芸術大学※の狂言の講座に集まった生徒を中心に「釜ヶ崎狂言会」が結成される。狂言師・茂山童司と共に、まだまだ機敏に動ける60代、「冥土の土産になるわあ」と漏らす70代が、狂言を学び、新作を創作し、発表する。第1回目の発表となる釜ヶ崎狂言会の意欲作は、実験狂言で、さまざまな人生経験が織りこまれる予定である。

日時：2014年1月17日(金)
17:00 - 20:40

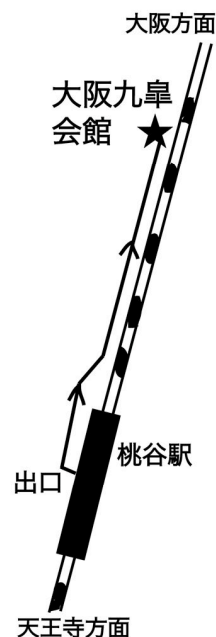
参加費：無料 (カンパ歓迎)

会場：大阪九臈会館 おおさか きゅうこうかいかん
大阪市天王寺区堂ヶ芝1-6-1
☎06-6772-3345 (当日のみ)

釜ヶ崎狂言会

※釜ヶ崎芸術大学とは？
大阪市西成区の通称釜ヶ崎と呼ばれる地域は、野宿、孤独、依存、などのキーワードがあがるとともに、そのようなことに向きあう知恵も培われてきたまち。そんなまちのあちこちで、2012年から「表現」「音楽」「感情」「詩」など様々な授業が開かれている。誰でもが受講可能。NPOココルーム主催。

行き方：
JR大阪環状線桃谷駅の改札を出て、右へ。駅を出たらまた右へ。そのまま環状線に沿って北上し、直進すると左にあります。グレーの壁に大きな木、釜ヶ崎芸術大学の看板が目印です。徒歩約5分。



タイムスケジュール

- 17:00 開場
- 18:00 開演 はじめに
- 18:10 発表 | 釜ヶ崎狂言会2013
狂言の集中講義受講生による創作狂言
番外狂言 (茂山童司、増田浩紀)
- 19:20 座談会 | いろんな伝統芸能のちから
—釜ヶ崎での実践をとおして
報告：フラテルナル劇団×茂山童司
×植田裕子×受講生
司会：中川真
2011年度に釜ヶ崎でのワークショップを行なったフラテルナル劇団からのビデオ・メッセージ。茂山童司さんから狂言や伝統芸能の現在、NPO法人ココルームの植田裕子から釜ヶ崎芸術大学でのとりくみについて、受講生からは集中講座や発表会の感想を聞く。
- 20:30 おわりに
- 20:40 終了予定

茂山童司 狂言師
父および祖父二世茂山千之丞に師事。1986年、NOHO (能法) 劇団の『魔法使いの弟子』、『以呂波』で初舞台を踏む。以後、『千歳』、『三番三』、『釣狐』を披く。近年ではNHK「プレキソ英語」に出演。パイリンガル狂言を行うなど、表現の新境地を開拓している。

中川真 音楽学者
1978年以来、大阪にてガムラン合奏団を設立し、古典音楽のみならず、ガムランの現代作品制作や委嘱を通して、世界のガムランコミュニティとの交流を実施する。<マルガサリ>に所属し、インドネシア芸術大学客員教授を務める。

フラテルナル劇団
ポーロニャのホームレス支援団体から生れた劇団。イタリアの16世紀から18世紀にかけて流行した即興仮面劇コメディア・テラルテの伝統を受け継ぎ、ドラッグ中毒やアルコール中毒に陥っているホームレスの人たちと創作活動を行う。

植田裕子 NPO法人ココルームスタッフ
1985年滋賀県生まれ。東京藝術大学音楽環境創造科在籍中に取手アートプロジェクトスタッフ、NPO法人ココルームのインターンを経験。卒業後一般企業に就職し、宿泊施設にて文化事業を担当。2011年2月よりココルーム勤務。

— お問い合わせ —
ココルーム
大阪市西成区山王1-15-11
Tel&Fax : 06-6636-1612
Mail : info@cocoroom.org

主催：釜ヶ崎狂言会実行委員会
企画：大瀧千輝 ビデオ字幕/翻訳：コマストリ・キアラ
助成：大阪大学未来共生イノベーター博士課程プログラム
公益財団法人福武財団、LUSHチャリティバンク
協力：NPO法人こえとことばとこころの部屋 (ココルーム)
大阪九臈会館、株式会社童司カンパニー、太子会館老人憩の家